様式

宗像市スポーツ推進計画（後期）（案）に関する市民意見提出手続の意見及びその回答（案）

| 箇所 | 意　　　　見 | 対応 | 回　　　　　答 |
| --- | --- | --- | --- |
| 計画全般 | 本来計画とは目的を実現させる（目標を達成させる）ために策定するものだと思いますが、概要版に示された具体的な課題について、いつまでに解決させるのか明記をされていないのはなぜですか？私たち市民に分かりやすく目標数値を明示してほしいのですが。  例えば、計画を策定してもH２５年の調査結果よりも週一回以上運動する成人の割合は１０％以上減少しています。「前回の計画策定、施策の反省点はなんだったのか？」そして今回の見直しによって「何をどのように変えるのか？」そのうえで「６５％の目標値をいつまでに達成するのか？」私たち市民がより理解しやすく工夫して表現してほしいと思いますが。 | 原案通り | 本スポーツ推進計画は平成２７年に策定したもので、令和６年までの１０年間の計画です。本計画に定める目標は計画期間の最終年となる令和６年度までに達成することを目標としています。  あくまでも今回前期５年間の取り組みを踏まえた見直しのため大きな方針転換は行っておらず、前計画を踏襲し「成人の週１回以上のスポーツ・運動実施率が３人に２人（６５％程度）」などの個別の目標を掲げています。 |
| 計画全般 | 「前期５年間の成果」が示されていますが、その中で本計画が策定されていなければ達成することができなかった「特筆するような成果」を示していただくほうが、本計画の策定意義がはっきりします。計画のあるなしに関わらずスポーツは推進した方がよいのは常識ですし、そのうえであえて予算と時間をかけて計画を策定する以上は計画策定の成果効果を明確に我々市民に伝えいただければと思いますが。 | 原案通り | 取り組んでいる施策は、全て本市の総合計画及び本計画に基づき実施しています。したがって前期５年間の成果は全て本計画が策定されたことにより達成することができた成果であると考えます。  なお、取組による成果については毎年のスポーツ推進審議会にて審議しています。審議会の内容は市のＨＰに掲載しており、後期も継続して実施することで市民に周知していきたいと考えています。 |
| １．スポーツ・運動を通した市民健康活動の推進 | 市民エンジョイウォーキング事業について５年経過してもいまだに実現されていませんが、市のエンジョイウォーキング事業がもしも、他の健康施策とのデータの共有など別の目的があって実現に時間がかかっているのであれば仕方がないと思いますが、市内のランニングクラブではクラブ専用アプリを活用して走行距離や走行時間、ランキングなどモチベーションアップに活用されているところもありますので、市民の健康づくりを第一優先に考えた場合、無償アプリなどの活用も検討する余地はあるのではないでしょうか？ | 原案通り | 前期５年間の中で市民エンジョイウォーキング事業については一定の成果が得られたと考えています (１６ページ) 。ただし、「双方向運動サポートシステムの構築・運用」については実現しておらず、ご指摘のとおりすでに無償のアプリケーションなどが多数あることから、後期計画においては、それらの紹介、活用を行うよう変更しております（１５ページ）。また、引き続き市民の健康づくりにウォーキングを活用していくために、ウォーキング情報の提供やウォーキングを活用した健康づくり教室の開催などを行うようにしています（１５ページ）。 |
| 4．ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | 障がい者がスポーツと触れ合う機会を増やすことはよいことですが、その実施率を４０％と目標設定していますが、基準値（現在値）と設定根拠を明示しなければ、計画の妥当性が判断できないのではないでしょうか。 | 原案通り | 国のスポーツ基本計画が定める目標値「週1回以上のスポーツ実施率は４０%程度」（１０ページ）を根拠としています。  なお、現在値については把握できていないことを課題としており、今後アンケート等を実施し実態把握を行う予定です。 |
| ５．宗像市スポーツサポートセンターを活用し、住民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備 | 民間スポーツの活用について調査研究を行うとありますが、素朴な疑問として５年もかけなければ調査研究、結論は出ないの？また、民間施設との協議に５年もかかるの？と疑問があります。市民の納得いくような具体的な行動について明記した方がよいのではないでしょうか。（２年で結論が出るのであれば２年と明記してもらえるとわかりやすいです。） | 原案通り | 民間スポーツ資産の活用については、今まで以上に活用していくことが目的です。このため調査研究は計画期間全般を通して行い、活用できるものはすぐに反映するのはもちろんのことその後も継続して取り組んでいくものと考えています。 |
| ８．中核拠点となる施設の再構築と整備 | 中核拠点となる施設の再構築と整備についてはアセットマネジメント計画とスポーツ推進計画は同列で進めるという解釈でよろしいのですか。仮にスポーツ推進計画の調査研究の中で３か所維持が妥当となったとしても、アセットマネジメント推進計画の議論の中で３館の維持は財政的に困難であると結論（またその逆の場合もあり得ますが）が出た場合、どこが最終決定し責任部署となるのかあらかじめ議論して明記しておく必要はありませんか？ | 原案通り | アセットマネジメント計画に基づき取り組んでいきます。  したがって同列で進めるという解釈ではなく、アセットマネジメント計画に基づき、今後の方向性について示していきます。（２４ページ） |